

【児童発達支援】 自己評価アンケートまとめ

職員による自己評価

専用に作られた建物のためバリアフリーになっており、シャワー完備、トイレも広く使いやすい。一人ひとりの児童に対し、対応可能な職員配置ができています。子どもたちのその日の状態や特性に合わせて楽しく過ごせるようにしているが、より個々の発達目標に合った活動ができたと思う。非常勤職員の出勤と児童の送迎が重なる為、連絡掲示板を使用し、職員全員が共通認識をもって対応できるよう取り組んでいる。緊急時対応、防犯、感染症対応に関するマニュアルが保護者に十分に周知できていない為、定期的な見直し、周知が必要と感じた。

保護者による評価

満足度について高評価をいただいております、子どもたちが通所を楽しみにしている。クッキング、リトミックなど公園以外のプログラムが欲しい。コロナ禍のため、保護者同士の連携の場がなくても仕方ない。コロナ禍なので障がいのない子どもと交流しているか分からないという意見を頂いた。



事業所内での分析

子どもたちが通所を楽しみにしてくれており、保護者からも高評価をいただいている。コロナにより昨年度と比べても活動内容への影響を強く感じている。そのため密を避け、心身向上のために外遊びを多く取り入れている。また活動が固定化されないよう様々な公共の場所へ出向き、地域の人たちと関わりを持つ支援ができています。

事業所の強み

様々な障がい・特性を持った児童の為に作った施設なので、過ごしやすい環境である。のびのびと過ごせる広場があり、ポニーや小動物と触れ合うことができる。コロナの影響で活動に制限が生じる場面もあるが、子どもたちがどう楽しめるかを考え、適切な支援を行うにはどうしたらよいかなどを話し合い、声掛けを行い、職員間で協力し合うことができている。対応可能な職員配置ができていますため、状況に応じて個別対応を行うことができる。

事業所の改善点

緊急時対応、防犯、感染症対応に関するマニュアルが保護者に十分に周知できていない。個々の緊急な事柄については迅速に対応できるが、事業所全体にかかわる緊急な事態が起きた際の手順の整備を行っていく必要がある。

事業所の改善への取り組み

ホームページは定期的(新年度毎)に見直し、更新を行う。保護者の皆様へのお便り、面談などを通して、緊急時等対応マニュアルや普段の活動内容について丁寧に発信していく。緊急時対応について定められた手順に従って行っていく。感染対策として食事(少人数ずつ摂る)と遊びのスペースをしっかりと分ける。子どもの気持ちに寄り添い、個々の発達目標や見立てに沿って統一感のある支援を行っていく。